

平成25年度事務事業評価調書

整理番号	9	枝番	1
評価担当課	社会福祉課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	総合福祉センターの運営				
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり	
		主要施策	4	地域福祉の推進	
		基本事業	3	推進体制の充実	
		実施計画事業	3	総合福祉センター運営の充実	

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	地域福祉活動の活動の拠点である総合福祉センターの運営の充実を図ることにより、各種団体への支援や育成に努めます。				
対象(何を又は誰を)	地域福祉活動を実践する各種団体及び市民				
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	総合福祉センターの維持・管理・運営を行うことにより、地域福祉活動の中核的役割を担う、社会福祉協議会、民生委員・児童委員等への支援や各種福祉団体などが行う福祉活動の育成が図られる。				
意図(どのような成果を期待しているか)	①社会福祉協議会運営の支援 ②各種福祉団体の活動の場の確保 ③福祉のまちづくりの推進				
事業実施主体	名寄市				
事業実施方法	直営 一部委託 全部委託 補助等 請負 その他()				
事業実施期間	始期	H19 年度	終期設定	有 (終期 H28 年度) ・ 無	
根拠法令・条例等					

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H22	H23	H24	H25見込	目標年度 (年度)
	1	2			目標	実績	目標	実績	
活動指標	1	予算額	千円	目標	30,727	32,996	33,781	34,673	
		決算額		実績	30,083	34,624	35,297		
	2	利用延人数	人	目標				37,000	
				実績	40,336	43,866	37,108		
	3			目標					
				実績					
成果指標	1	利用延人数	人	目標				37,000	
				実績	40,336	43,866	37,108		
	2			目標					
				実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H22決算	H23決算	H24決算	H25予算	平成24年度の事業費内訳	
事業費	30,083	34,624	35,297	34,673	需用費	17,457
					役務費	1,368
国道支出金					委託料	13,066
地方債					備品購入費	2,835
その他	1,101	1,180	1,093	1,032	その他	571
一般財源	28,982	33,444	34,204	33,641		
人件費	661	668	663	663		
平均給与額	6,608	6,683	6,629	6,629		
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10		
総事業費	30,744	35,292	35,960	35,336		
対前年比(%)	82	115	102	98	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	0.75	0.79	0.95	総事業費÷利用延人数	
	活動指標2					
	活動指標3					

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	なし
改善点	指摘事項 有 () <u>無</u>

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性	a	広く市民に福祉サービスを提供するとともに、ふれ合い交流を通じて、地域福祉の向上と、意識の高揚を図るため、総合的機能を有する福祉活動の拠点施設として欠かせない施設です。
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？		
有効性	a	市民に対する福祉活動の拠点施設として目的を達成している。
目的を達成するための方法として有効か？		
効率性	a	施設の管理は市が直営で行っていますが、日常的な管理は社会福祉協議会にお願いしています。建物の使用に係る料金は、社会福祉協議会が徴収し、翌月に市に納入してもらっています。
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？		
公平性	a	条例に基づき適正な料金の負担をいただいている。
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？		
達成度	a	建設から17年を迎えることから、市民が安心して利用できる福祉施設にするためには、今後の施設修繕等を検討していく必要があると考えています。
活動指標、成果指標の達成度は？		

5 1次評価

評価結果	理由	
A	今後も高齢者の人口増加が予測されることから、福祉活動の拠点施設として必要不可欠であり、今後も継続が必要です。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し		
D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等

7 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	地域福祉活動の活動の拠点として、今後も事業の継続が必要。